

結

第三五號

筆第八號

肆第四六七の別仙臺鎮臺より被出人證人帶劍之義

ニ付伺之付

伺之趣證人ハ帶劍被出人ハ脱劍入廷セシムル儀ト可
お心得候事

各鎮臺(即達按 陳仙臺鎮臺

別紙仙臺鎮臺伺朱書之通及指令候條具呈、所
にて同様可相心得此旨お達候事

明治十六年一月十七日 軍法課長

此胸證人トシテ犯罪事件の證明ニハ公益ノ為メニ有
ニシテ十分軍人タルノ權利ヲ有スル者、候得ハ帶劍入廷セシ
ム所ハ得共被出人タルニ於テハ身己ニ罪ヲ犯シメテ審

一 蓋 軍 官

0123

判ヨ受クル者有之ハ得ハ單ニ無罪視スルノ一理ヲ
以テ危峻ノ具ヲ携帶シテ出廷セシムルハ不可ナリトス

0124